

(別紙2)

長崎県美術館指定管理者選定委員会 議事要旨

1. 委員会の開催状況

・第1回 書面開催

期間:令和8年2月16日(月)～令和8年3月2日(月)

・第2回 現地開催

令和8年7月22日(水)15:00～17:00

2. 審議内容

【第1回】

各委員へ書面にて募集要領及び審査基準について意見を求め、募集にあたっていただいた意見を反映させた。

【第2回】

(1)応募状況・審査方法等の説明

事務局より1団体からの応募があったことを報告し、審査方法等について説明した。

(2)応募者に対するヒアリング

①応募者からのプレゼンテーション

②質疑応答(主な質問は以下のとおり)

収蔵資料の活用方針や、今後の運営に関する提案内容、来館者の属性、組織の人員体制、施設の維持管理方針、県との連携の考え方などについて

(3)採点、審議

①採点結果

(公財)長崎ミュージアム振興財団 1,868 点/2,520 点(得点率 74.1%)

※詳細は別紙1のとおり。

②指定管理候補者の選定と選定理由

【候補者】

公益財団法人長崎ミュージアム振興財団

【選定理由】

採点の結果、全委員の総合得点が選定基準を満たしていたことから(公財)長崎ミュージアム振興財団を指定管理者として選定。

【主な評価内容】

- ・少子高齢化社会の中で、来館者数は意欲的な 目標を掲げており、周辺観光施設と連携したインバウンドの集客も期待できる。
- ・開館時間の短縮による収支改善やユニークメニューによる利用者拡大等が期待できる。
- ・高校生以下の常設展無償化により、修学旅行の誘客にもつながり、利用者拡大と教育普及に期待できる。
- ・地域連携アドバイザーの設置により、地域との連携拡大や美術館を核とした地域のコミュニティ形成が評価される。
- ・過去4期の運営実績において、来館者確保、収支管理に加え、教育普及事業が着実に実施されており、総合的に高く評価された。

【意見】

- ・従業員が誇りをもって働ける職場環境の創出や勤務時間・給与水準などの待遇改善による優秀な人材確保が必要。
- ・インバウンド誘客などの観光振興については、観光関係の部署とも連携した取組が必要。
- ・美術館の価値を評価する指標は、来館者数だけでなく生涯学習や地域とのコミュニティづくりなどに対する貢献を表すものもあるのではないかな。
- ・建設から21年が経過するため、大規模改修について検討が必要